

COVID-19 に関連する北海道看護協会の活動

新型コロナウイルス感染症は、道内で1月28日に1例目の感染者が確認されて以降、感染者が全道の広い地域で確認され、「新型コロナウイルス緊急事態宣言」が発表となりました。本会は行政と協力して次の活動を行いました。

◎新型コロナウイルス感染症に関する電話相談及び宿泊療養施設の人材確保

ナースセンターでは、2月25日に北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課より3月2日からの新型コロナウイルス感染症24時間電話相談対応者の確保依頼がありました。

届出制度を活用して潜在看護師8名を確保し3交替制勤務で道民の不安やPCR検査に関する質問や疑問等色々な相談に3～6月の4ヶ月間対応していただきました。

また、4月16日には、道から軽症者宿泊療養施設における健康観察と生活支援のための人材確保、5月7日には札幌市から軽症者宿泊療養施設対応依頼がありました。他に病院や老人保健施設等からも求人があり6月末までに看護職と施設からの問い合わせ249件、求職者数105名、就業者数42名でした。

電話相談対応者からのコメントを紹介します。

定年退職から4年、頭も体も緊張感を欠いた状態でした。その様な時、電話相談業務の依頼を迷いながらもお受けしました。この仕事は、病状相談より苦情や行政への不満が多く、心が折れかけました。でも、皆様から寄せられる健康相談に、きちんと答えたいと思い、ネットで学習しました。次第に、きちんと説明できるようになるにつれ、自分の経験や知識が生かされている事に気付きました。日々働くことの充実感を再認識いたしました。今は、次へのステップアップを考えて再就職しました。このような機会をいただきありがとうございました。(F.Yさん)

◎北海道健康フォローアップセンター(北海道委託事業)の受託

1. 活動概要

○ 取組みの経過

- ・ 北海道では、新型コロナウイルス感染症者数の増加に伴い、保健所が実施する疫学調査対象者や健康観察を必要とする濃厚接触者への対応が増加しておりました
- ・ 地域の蔓延を防止するためには、速やかに疫学調査を行い濃厚接触者の把握と、健康観察を行うことが必要となります。

- ・ そのような中、本会では、5月下旬から北海道の依頼を受け、「北海道健康フォローアップセンター」として、濃厚接触者の健康観察と健康相談を実施することになりましたのでご紹介させていただきます。

2. 活動状況

○ 活動体制

- ・ 教育課の看護職が中心となり、現在1チーム3名の3チームで対応しています。

○ 実施状況

- ・ 道立保健所が新規感染者の疫学調査を行い作成した濃厚接触者のリストを基に、個々の健康観察期間に応じ、電話やメールにより、発熱、咳、咽頭痛等の症状や体調の確認と不安な気持ちに寄り添いながら相談を行っております。
- ・ また、空港等の検疫所から北海道新型コロナウイルス感染症対策本部へ情報提供があった帰国者への健康観察も同様に実施しております。
- ・ 健康観察期間中に、発熱、咳、咽頭痛等の新型コロナウイルス感染症が疑われる症状が現れた場合には、速やかに保健所へ情報提供を行い必要な支援に結びついております。
- ・ これまでに、多くの方々の健康観察に携わり、本会、北海道、保健所が連携し、濃厚接触者の健康状態の把握や異常を早期に発見し感染拡大の防止に努めています。

◎COVIT-19 支援ナース事業への協力

6月8日から北海道が行う COVIT-19 支援ナース事業【支援ナース派遣調整システム】において支援医療機関の登録と受援希望施設と支援施設の派遣調整に協力することになりました。すでに支援医療機関の登録が始まっています。

◎感染管理認定看護師の紹介

新型コロナウイルス感染症の発症当初から北海道からアドバイザーとして感染管理認定看護師の紹介依頼があり、本庁に2名、北見保健所に1名の認定看護師を紹介しました。北見保健所が網走保健所・紋別保健所と共同で作成した「新型コロナウイルス感染症（COVIT-19）感染対策」冊子の監修を北見保健所に紹介した認定看護師が担いました。

札幌市高齢福祉局高齢福祉部介護保険課からは、介護老人保健施設でクラスター発生したことを受けて、介護施設への感染予防対策のために感染管理認定看護師の紹介依頼があり、介護老人保健施設で勤務経験がある認定看護師を紹介しました。感染予防対策について希望施設に訪問して助言を行いました。